

2025年度 まちのつながり応援事業
支援内容説明会・相談会 開催レポート

2026年3月31日
認定NPO法人サービスグラント

1. はじめに

町会・自治会は地域住民の互助のシステムとして中核的な役割を担っていますが、同時に高齢化や加入率の低下等様々な問題を抱えていると言われていています。一方で、「いろいろな世代が集えるような場づくりに取り組みたい」、「新しく引っ越してきた人も気軽に関わられるようなまちにしたい」など、顔の見えるつながりづくりや、幅広い住民の関わるまちづくりに取り組む町会・自治会もあります。

地域の課題解決に向けて積極的にチャレンジを行う町会・自治会を対象に、仕事の経験やスキルを活かした社会貢献活動「プロボノ」で会の活動基盤強化を支援する『2025年度 まちのつながり応援事業』の実施にあたり、支援内容説明会を実施しました。

支援内容の説明に加え、過去支援先の事例紹介および自団体の課題の棚卸しと整理を行う「支援活用検討ワーク」を同時開催し、支援の具体的なイメージをお持ちいただくことで2025年度の支援申込につながることを目指しました。

2. 実施概要

○開催日時と開催場所

- ・第1回 2025年 6月19日(木)19:00-21:00
会場：オンライン
定員：なし
- ・第2回 2025年 6月28日(土)14:00-16:30
会場：新宿NSビル3階J会議室
定員：30団体（1団体あたり2名まで）
- ・第3回 2025年 7月4日(金) 14:00-16:30
会場：新宿NSビル3階G会議室
定員：30団体（1団体あたり2名まで）

○開催スケジュールとプログラム内容

内容	時間
1. 本日の流れ、開会のご挨拶	5分
2. 事業の紹介 支援内容の紹介（プロボノについて、支援プログラム紹介）	10分
3. ゲストトーク①まちの応援プロボノチーム ・まちの応援プロボノチーム概要説明 ・過去支援先より1団体のゲストトーク ・ゲストへの質疑応答	30分
4. ゲストトーク②まちの情報発信講座 ・まちの情報発信講座概要説明 ・過去支援先より1団体のゲストトーク ・ゲストへの質疑応答	30分
5. お申し込みに合わせて	10分
6. 中締め、休憩	5分
7. 支援活用検討ワーク（任意参加） ・自団体の課題整理、解決策の検討、参加者同士での共有 ※第1回のオンライン回は、進め方の案内のみ	60分 (第1回のみ30分)
計	150分

○事前の告知方法

- ・ 区市町村担当窓口を通じたチラシ配布
- ・ サービスグラントを通じた過去イベント申込者宛のメール配信

○応募の受付方法

- ・ サービスグラント宛に所定の申込用紙をメール、FAX、またはフォームにて申し込み

3. 参加団体数

	説明会(第1部)		検討ワーク(第2部)	
	申込	参加	申込	参加
6月19日(木)	56	40	43	23
6月28日(土)	19	17	16	12
7月4日(金)	24	19	18	15
合計	99	76	77	50

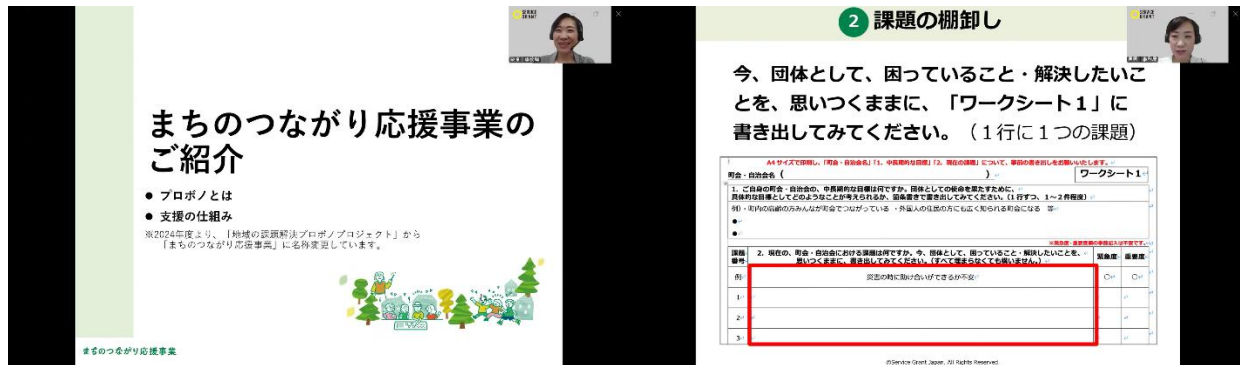
4. 当日の流れ

○まちのつながり応援事業の紹介、支援内容の紹介

本プロジェクトの概要、プロボノの語源からこれまでの実績と成果、町会・自治会の方々にとってのメリットや支援内容の紹介までを参加町会の皆様に説明しました。

【写真】

第1回説明会の様子



第2回説明会の様子



第3回説明会の様子



○プロボノ活用事例紹介

過年度のプロジェクトにおいてプロボノによる支援を活用した経験のある団体の代表者をゲストにお呼びして、プロジェクトの様子やそこから得たもの、現在の活動に与えた変化などを伺いました。

ゲスト

第1回

金森三丁目町内会（町田市）代表 小林 亮 氏：2024 年度まちの応援プロボノチーム参加
 鷺宮四丁目町会（中野区）会計幹事・渉外関連担当役員 斉藤 百合 氏：2023 年度実践講座参加（LINE 公式アカウント）※昨年度の動画を使用

第2回

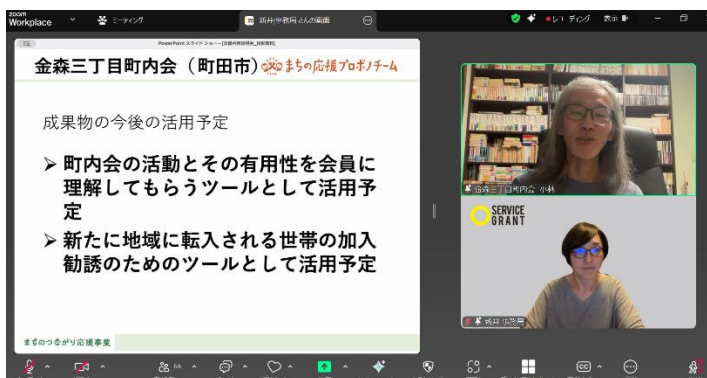
岩戸町会（狛江市）会長 嶋本 雅史氏：2024 年度まちの応援プロボノチーム参加
 鷺宮四丁目町会（中野区）会計幹事・渉外関連担当役員 斉藤 百合 氏：2023 年度実践講座参加（LINE 公式アカウント）※昨年度の動画を使用

第3回

岩戸町会（狛江市）会長 嶋本 雅史氏：2024 年度まちの応援プロボノチーム参加 ※第2回の動画を使用
 平尾自治会（稲城市）広報担当 長谷川 由美子さん：2024 年度まちの情報発信講座（ホームページ作成）参加

【写真】 ゲストトークの様子

（第1回：金森三丁目町内会）



（第2回：岩戸町会）

（第3回：平尾自治会）



○支援活用検討ワーク

目的や進め方を説明したのち、ファシリテーターの案内のもと、町会・自治会の皆さまが運営に関する課題と、考え得る解決策を挙げ整理しました。

・支援活用検討ワークの目的

団体が抱える課題の中にはプロボノによる支援が適切なものやそうでないものがあります。また、様々な課題を抱える中で課題解決の優先順位を団体がつけにくい場合があります。そのため、プロボノの支援を受ける前に、支援に関心のある団体を対象にワークショップを行いました。

プロボノによる支援が可能な自団体の課題は何か検討することで、プロボノによる支援を受ける準備を整えることが本ワークショップの目的です。

・支援活用検討ワークの流れ

① 課題の明確化

課題を洗い出し、明確化

② 課題の整理

「町会のありたい姿」を思い描き、夢や理想に照らし合わせて課題を整理

③ 解決の方向性検討

解決策のアイデア出し

・支援活用検討ワークの内容

ワークシートを使用し、まず、団体として困っていることや解決したいことなどの課題を記入します。これにより、漠然としていた課題や、日々の業務の中の悩みが整理・棚卸されるとともに、課題が可視化されることによって、解決策の検討に進むことができます。

次に、団体の「町会・自治会の活動を通じて実現する地域のありたい姿（夢・理想）」を箇条書きで記入します。具体的なありたい姿を記入することにより、多くの課題の中から闇雲に取り組むのではなく、どの課題解決から着手する必要があるか、重要度・緊急度の4象限に分けて優先順位を検討することができます。

その後、重要度の高い課題について「それぞれに、どのような解決策が考えられるか」を、「支援による解決策のヒント」を参照しながら書き出しました。

さらに、書き出した課題の解決策について「まちの応援プロボノチームを活用できること」「まちの情報発信講座を活用できること」に分類しました。分類ごとに色分けしたシールを貼ることで、重要度の高い課題とその解決策としてのプロボノ支援活用の可能性が明確になりました。

【ワークシート】

① 付箋貼り付け用紙	団体名	お名前
<p>運営の課題は？ (組織・体制・担い手・会議・資料保管など)</p> <p>活動の課題は？ (行事・事業の内容・質・参加状況など)</p> <p>情報発信の課題は？ (広報・周知・コミュニケーションなど)</p>		
② ありたい姿と課題整理	団体名	お名前
<p>町会・自治会の活動を通じて実現する、地域のありたい姿（夢・理想）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ● ● <p>重要度：高</p> <p>緊急度：低</p> <p>緊急度：高</p> <p>重要度：低</p>		

支援による解決策のヒント

まちの応援プロボノチーム

業務の権限・効率化の提案 <ul style="list-style-type: none"> 役員業務の細分化 業務効率化案作成 デジタル活用提案 	イベント企画立案 <ul style="list-style-type: none"> 若い世代が参加しやすいイベント企画立案・運営案作成 防災イベントの運営案作成 	情報発信の改善策の提案 <ul style="list-style-type: none"> 情報発信の経路整理 効果的な広報/ラン作成 SNSの提案と運用案作成
活動・運営マニュアル作成 <ul style="list-style-type: none"> 役員業務マニュアルの作成 イベント運営マニュアルの作成 災害時の避難の手続き作成 防災体制の課題整理・見える化 	チラシ・パンフレットリニューアル <ul style="list-style-type: none"> 狙い字尊重チラシ作成 参加促進チラシの作成 広報誌の刷新・ひな形作成 	住民ニーズ調査 <ul style="list-style-type: none"> 住民意識調査と改善案の作成

まちの情報発信講座

ホームページ作成 <ul style="list-style-type: none"> 活動の見える化と参加促進 組織のデジタル化 情報のアーカイブ化 運営の透明性向上と信頼獲得 	LINE活用 <ul style="list-style-type: none"> 正社員の 접근、参加促進 役員への届き易い配布の負担軽減 広報のデジタル化 タイムリーな情報発信
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

Service Grant Logo ※ これらはあくまで一例です。解決策を考える際のきっかけとして、参考にしてみてください。

5. 参加者アンケート

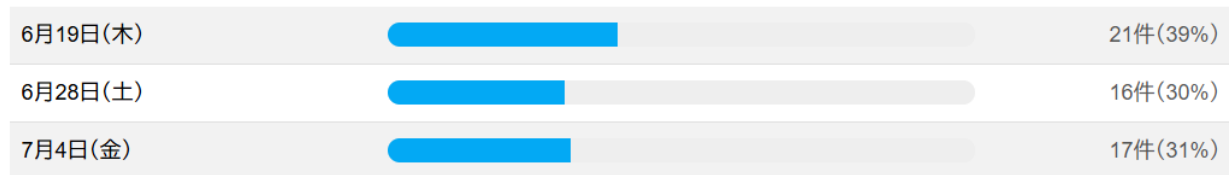
○件数

回答数 54 名 (回収率 42.9%)

○結果

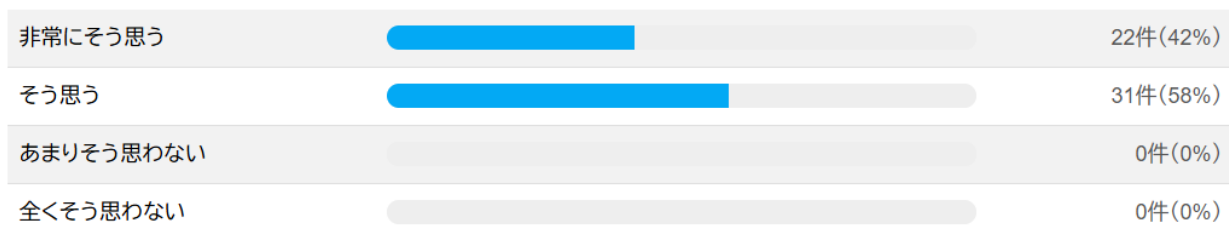
「支援内容説明会」ご参加日をお選びください

回答数 54件



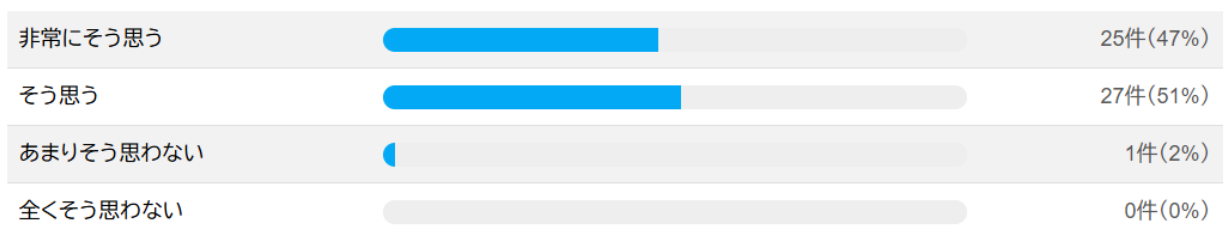
1.「まちのつながり応援事業」全体の概要について、理解が深まりましたか？

回答数 53件



2.支援プログラム「まちの応援プロボノチーム」「まちの情報発信講座」について、理解が深まりましたか？

回答数 53件



3.ゲストによる体験談は、プロボノ支援の活用についての検討や、町会・自治会活動の参考になりましたか？

回答数 53
件

非常にそう思う		25件(47%)
そう思う		25件(47%)
あまりそう思わない		3件(6%)
全くそう思わない		0件(0%)

4.ゲストによる体験談をお聞きになって、新しい発見やあらためて気づいたこと・確認できたことなどは何かありましたか？ 自由にご記入ください。

- ・プロボノの構成を聞いてボランティアだけど、専門家なのだと安心できた。他町会の問題、解決などを聞いて、どこも同じような問題を抱えて、それを解決できているので、自分の町会でもできそうな気がした。しっかりした機関で、都の方の説明もあり、取り組むのに前向きになった。
- ・防災マニュアルの作成によって自治会の存在をアピールできることにつながったとお伺いし、参考にさせていただきます。
- ・参考になる情報が多くありました。
- ・デジタル活用が進んでいることを確認できました。
- ・町会としての課題抽出/検討のいいきっかけになりました。
- ・非常に参考にはなりましたが、当自治体がするには規模が大きすぎてちょっと無理かな？等と思いました。
- ・班長制度には驚きでした。学校の繋がりもある地域なのでしょうね。
- ・他の地域の町会自治会活動を知ることができ、また皆さんの熱意ある取り組みを拝見し、励みになりました。
- ・我が町会で抱えている問題や課題が他の町会・自治会でも持っていることが発見できたことは良かった。
- ・町会・自治会の行動力の差が大きく、私の小さな自治会のレベルでも大丈夫かなとちょっと不安な反面、素晴らしい行動力に賞賛しました。
- ・回覧の内容が家族内で共有されていないことを聞いて、衝撃だった。
- ・当自治会では既にHPと役員LINEは運用しており、さらに公式LINEの導入を検討中なので、鷺宮四丁目町会様の事例が参考になった。
- ・岩戸町会様のDX推進ロードマップは、狛江市が進めているDX戦略とリンクして進めていること「会員への情報発信」におけるデジタルにおける運営体制立ち上げに興味を持ちました。アカウント活用をさらに進めたいと検討しているので。
- ・岩戸町会さんのような大きな町会・自治会では、そのような成功例が実現するでしょう。私たちのような規模の小さい、住民の関心が極度に低い自治会では、その成功事例が、当てはまらないということをかえって痛感しました。
- ・当町会の課題を共有できたことは良かった。
- ・早々取り組もうと思われたヒントが有りとても良かった。
- ・規模に関わらず似た悩みを抱えている町会があること。DXに興味を持たれていること。

- ・具体的なお話をきくことができよかったですと思います。
- ・デジタル発信、ライン。
- ・加入率までは伺えませんでした、世帯数の多さにびっくりしました。そこからかも知れません。
- ・他の町内会も各々の課題、問題点を抱えており、個別に対応している事が理解できた。
- ・「外の目を入れることの大切さ」を話していたことに共感した。プロボノなど、外部の力を借りて、問題を解決したいと思った。
- ・自治会としての悩みは世帯数にかかわらず同じであると気づきました。
- ・現町会役員へのプレゼンが必要。属人化からの脱出・デジタル導入への道筋。
- ・組合員の数人で取り組むことがまず一段目のハードルと思いました。役員全員が年度ごとに総入れ替えとなると、持続させることが難しいなと思いました。
- ・講座受講して良かったです。他の役員にも是非受講してもらいたい内容です。
- ・HPの作成の事例で何を目的とするか、何を載せるかをまず検討することの必要性を感じた。
- ・担当者のやる気が事を前に進めていけるのだという事がより確認できました。

5.ゲストによる体験談をお聞きになって、特にプロボノのような外部の力を活用して解決したいと思ったことは何かありましたか？ 自由にご記入ください。

- ・町会への入会促進、情報弱者の支援。
- ・実際に実施している内容など踏まえて指摘してもらいたい。
- ・SNS導入、HP制作等デジタルコンテンツ。
- ・まだ、具体的な問題点を絞り込めていないため、これから考えたいと思います。
- ・SNSのプラットフォーム選択、コンテンツ制作の肝と生きたSNSを継続させるコツ など。
- ・プロボノ支援の活用は、限られた役員では限界があるので有効だと思いました。弱小自治会が対応出来るか不安です。
- ・町内会としての組織の目的を明確にして運営と継続を見直したいと思った。
- ・現在は特にありませんが、まちの応援プロボノチーム支援内容に興味があります。
- ・プロボノのような外部の力を活用したいとは、切望します。しかし、私たちの現実は、「支援の受け入れ態勢に関する基準」を満たせないというのが、実態です。組織的な受け入れ体制自体を構築できません。
- ・空き家を自治会館として活用すること。
- ・資料等持ち帰り他の会員と話し合いたいと思います。
- ・計画の実行力、発案力を借りて想像でとまっていることを実体化させたい。
- ・外部の方の客観的な意見や方向性をきく機会があればいいと思います。
- ・いくつか解決策がある 選択肢がある中で、スキルの高い方の知見で、効率的にデジタル化を構築していきたい。
- ・優秀で能力の高いプロボノの力を"使える能力"がとても大切と思いました。
- ・町内会の意義、一般の方への情宣に活用したい。
- ・定例イベントはあるが、担い手不足もあり過去の踏襲で精一杯になっている。外部支援を得て改めて住民意識・期待を図ってよりよいイベント企画していきたいと考えている。
- ・デジタル化、町会の未来の形の共有、防災。
- ・新規事例として「町会活動の見える化」を対象として申請の可能性を考える。
- ・2~3年前にプロボノワーカーさんにお世話になりました。では次へ次へと欲が出ています。

6. 支援プログラムについてお伺いします。説明をお聞きになり、今後、支援プログラムを活用したいと思いましたが？当てはまるものにチェックをつけてください。 回答数 52 件

ぜひ活用したい	<div style="width: 29%;"></div>	15件(29%)
前向きに検討したい	<div style="width: 46%;"></div>	24件(46%)
検討はするが懸念する点がある	<div style="width: 12%;"></div>	6件(12%)
今回はおそらく見合わせる	<div style="width: 13%;"></div>	7件(13%)

- ・（6. のコメントとして）： 役員が1年交代で上手く引き継げるかどうか懸念点。分かりやすく説明頂きありがとうございました。

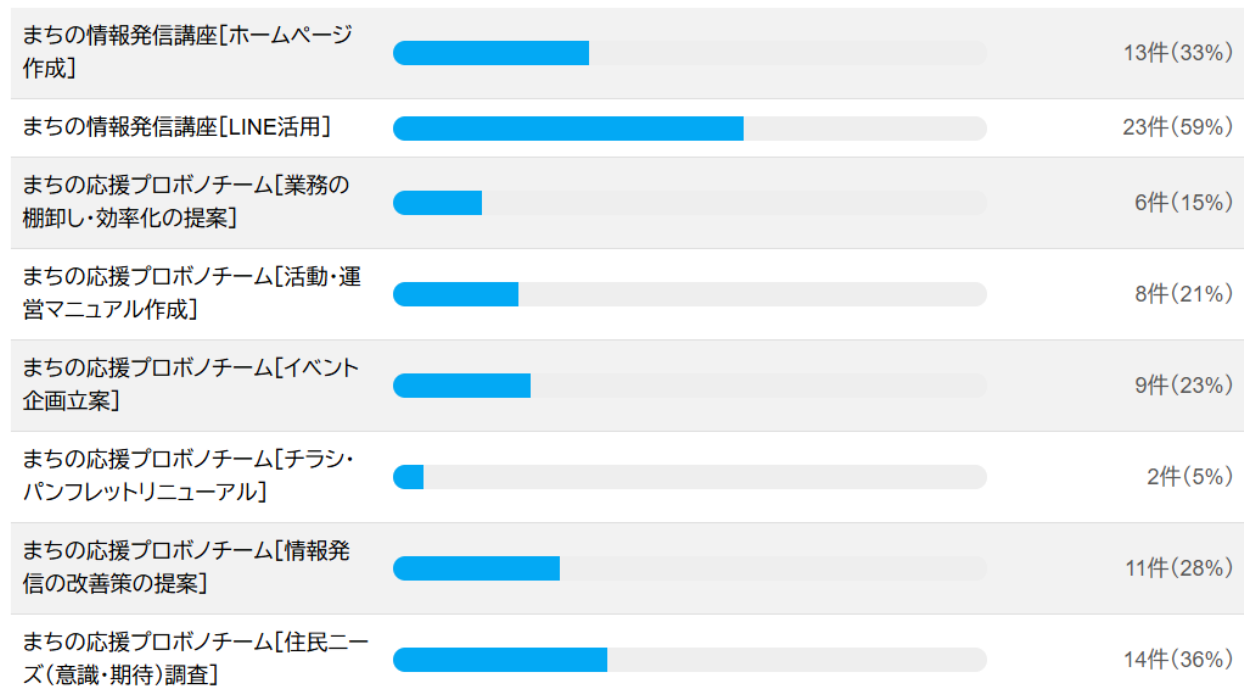
検討はするが懸念する点がある：内容

- ・ 高齢の方が多く、LINE導入には高いハードルがある。しかしながら若い会員を募るためには、LINE導入は必要で、どうやってハイブリッドで運用するのが解決できていない。
- ・ 集合型講座に2名参加が必須だと厳しい。
- ・ 現在、電子回覧板システム導入のPJを立ち上げたところですので、両立は難しいのではないかと思います。
- ・ 同時に市からも同様の支援があり、どうするか思案中です。また、来年度は、役員が全員入れ替わるのでそこも懸念して居ます。

今回はおそらく見合わせる：理由

- ・ まだその段階にない。
- ・ 内部でやってみようとしていたことが事例として上がっているため。
- ・ 役員任期があと半年しかなく、その間に次の役員決めをする時期のため、他役員を巻き込んでのヒアリングなどの対応が難しいと感じています。タイミング的には、4月頃に話が聞けて、6月頃からプロジェクト開始ができると活用を考えることができたかも知れません。
- ・ 支援プログラム、特に「まちの応援プロボノチーム」には非常に興味があるが、町内会の主要な役員が交代したので、本年は支援を受けることに対応できる時間的、能力的余裕がないと考える。
- ・ 受け入れ態勢が出来ていないことに加え、「期待される成果に関する基準」も満たしていないからです。
- ・ 他の長、部長、班長クラスの方々までこの話が伝わっていない為答えられないから。

「ぜひ活用したい」「前向きに検討したい」を選んだ方に伺います。検討されているコースはどちらですか？(複数選択可) 回答数
39件



7.その他現在、関心をお持ちの支援内容があればご記入ください。




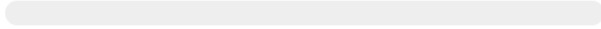
- ・デジタル回覧による情報共有です。
- ・当自治体は毎年自治会内ハロウィンパレード、夏休みラジオ体操、防災訓練、通学路点検、毎月安全パトロール等を実施し地域の人にアピールしているが入会世帯が増えない。
- ・私たちにとって切実なニーズは、弱小自治会の実情を理解したうえで、実現可能な目標設定を、親身になって考えてくれる自治会運営相談窓口的な支援です。
- ・自治会のブランド再定義プロジェクトを検討頂きたい。
- ・自治会内ボランティア登録制度(仮称)の立ち上げ、運用。
- ・町内会の世帯数は増加していますが、町内会の会員が減少しています。会員数増加支援。
- ・アンケートをとること、第三者的にとりたい。
- ・HPの作成、ラインの公式アカウント。
- ・LINE公式アカウントの活用
- ・マンション防災において自治会として最低限、何をしておけばよいか。専門家のサポートを受けたい。
- ・役員の誰かが辞めると、仕事が分からなくなっている。仕事・知識・経験が人についてしまっているため業務のマニュアル化が必要。
- ・イベント企画立案・住民ニーズ(意識・期待)調査。
- ・防災倉庫の整理、公式LINE。
- ・住民意識の調査。役員のあり方をどう考えているか。
- ・会員減少対策。

8.本事業について質問や相談事項、ご意見やコメント等があれば、ご遠慮なくご記入ください。

- ・デジタル化は現在の業務と並行して進めるため、デジタル化による業務の負担が増えることを懸念しており、役員の担い手がなくなるのではと危惧しています。
- ・今回、情報発信のホームページ作成について特に知りたかったが、説明内容に偏りがあったと感じた。
- ・貴重な情報をありがとうございました。他の町内会の課題と活動状況を知ることができとても参考になりました。
- ・ゲスト体験コーナーは、紹介＆質問時間が短いのが残念であった。
- ・わが町会は、プロボノの皆さんと比べると、スピードに劣ります。2～4カ月の期間をもっと長く出来る途を開いて頂けると敷居が低くなります。
- ・参加して、とても収穫がありました。ありがとうございました。
- ・発表の場実際に活動したプロボノの方の話も聞きたい。

9.支援活用検討ワークは、プロボノ支援の活用についての検討や、町会・自治会活動の参考に なりましたか？

回答数 40
件

非常にそう思う		14件(35%)
そう思う		24件(60%)
あまりそう思わない		2件(5%)
全くそう思わない		0件(0%)

10.今回の支援活用検討ワークを通じて、新しい発見やあらためて気づいたこと・確認できたことなどは何かありましたか？自由にご記入ください。

- ・課題について何度も考える機会を作ること、他の地域の課題を聞くことで、自地域の課題が整理されやすいことに気づきました。
- ・副会長と参加して、課題の共有の機会となりました。他の町内会のお悩みを拝聴する機会もあり、とても参考になりました。
- ・プロボノワーカーという第三者としての目線で、当自治会を見つめ直す機会があると感じました。
- ・他所の町会自治会の様子を聞くことはよいことです。
- ・目的より手段が先行しています。
- ・まだよくわからない。パソコン、携帯電話を使うにしても、お金がない、入会者宅に電波環境がない、高齢者が多く携帯を使いこなせない等の問題がある。
- ・どこも似たような課題があることがわかった。
- ・どこの町会もおきていることは同じだと感じました。良くも悪くも安心しました。
- ・うちの町内会は他に比べ組織がしっかりしている。町会費も圧倒的に安い。
- ・役員への情報共有・広報が必要。
- ・高齢化・担い手不足・参加者激減など、似た課題が多いなと思いました。
- ・ワーク時間をもっと多くしてほしい。
- ・自分は甘かった。他の自治会は本当にタイヘンだとわかり、良い啓発になった。

- ・HPの開設はできそうに思えたが、運用が難しいことがわかった。
- ・SNSの作成を目的として参加しましたが、応援プロボノチームとの町会活動の見通しの方が重要度が高いのではと考えています。受け入れ態勢に不安があります。

11. 今回の支援活用検討ワークを通じて、特にプロボノのような外部の力を活用して解決したいと思ったことは何かありましたか？自由にご記入ください。

- ・町会の高齢化に対して、デジタル化。町会メリットの明確化とプロモーション。マンションや企業とのコミュニケーション。盆踊り等の運営。
- ・まだ、十分な整理ができていないため、はっきりしたことは言えませんが、タイミングが合えば活用したい課題もあると思っています。
- ・住民ニーズを捉えて、会員数を増やしたい。
- ・ホームページの立ち上げやLINEを利用した生存確認やイベント出欠の連絡に活用したいがどうやったらできるのか模索しています。
- ・町内会としての組織の目的を明確にして運営と継続を見直したいと思った。業務負担が多く、現役で働いているので、納得感のある業務効率化を図りたい。
- ・様々思い浮かぶことはありますので、ぜひヒアリング時にお話をさせてください。今日はありがとうございました。よろしく申し上げます。
- ・空き家活用型の自治会館をプロボノに検討してもらえれば、「自治会館」を持つ途が開けるかもしれない。
- ・情報発信につき支援検討したい。
- ・同じ様な課題をかかえている町会の取組事例を見学できてとても参考になりました。
- ・そもそも町内会のあり方について。
- ・若手からデジタルや改革の話をするのアレルギー反応あり、第三者からの提案が良いと思った。
- ・内部同士だと、意識・感覚の違いから対立を生んでしまうことも多くあったようです。外部の目がはいることで、ムダな対立をさけることもできるのかな、と思いました。
- ・まずは役員の意識がまとまるかが問題かと思います。

以上